

新城市民病院での研修を終えて

豊橋市民病院

新城市民病院での1ヶ月間、総合診療科の先生方、外来や病棟の看護師さんをはじめ、院内関係者の方々には大変お世話になりました。豊橋市民病院ではできない多くの貴重な経験をさせていただきました。

総合診療科の先生方とともに、外来および入院患者様を診療させていただきましたが、丁寧に患者様の話を聞き、身体所見をとることがいかに大切かを改めて痛感しました。そしてそこからの鑑別、診断、治療への過程について毎日フィードバックをいただき、日々の自分の反省点を見つめ直し次に役立てることができました。初診患者様を、入院後も、または再診外来でもフォローさせていただき、症状の経過や治療効果をみることで、今後の治療方針を何度も考え直すことができました。また、患者様の疾患だけでなく家庭環境や社会背景に目を向けることで患者様の全体をみるということ、患者様一人一人にとって何が一番良いのか、自宅でより良い生活ができるようにと、医師、看護師、リハビリ、ソーシャルワーカーなど多職種で話し合う姿が印象的でした。このようなまさに「チーム医療」を実践されていることで、患者様との信頼関係が成り立っているのだと強く思います。

往診、訪問看護、訪問リハビリにも同行させていただきました。普段、病院での患者様しか知らなかった私にとって、地域で実際に生活をする様子を知ること、これらの訪問診療の重要性を知りました。病院から離れた山奥に住んでいる方、自分では通院できない方、また在宅介護を行う家族、実際にそのような方々にお会いして医療者に接している時の安心した表情、笑顔をみることができ、訪問診療がなくてはならないものだと感じました。また、介護保険の仕組みや、どのような介護サービスがあるのか指導していただき、患者様の退院後のQOL向上を考えるうえでもう一度自分でも理解し直す必要があると感じました。

地域で唯一の助産所の見学もさせていただきました。産科医のいない地域に住む妊婦さんにとって、近くにサポートしてくれる助産師がいることは大変心強いと思います。近隣病院との連携も濃く、安心して出産できる体制が整っていました。

この1ヶ月間を通して、新城の皆様のあたたかさ、そして地域と医療の結びつきの強さを感じました。自分の目指す医師像を改めて考えるきっかけをいただきました。今回学ばせていただいたことを、今後の診療に役立て、少しでも地域に貢献できたらと思います。短い間でしたが、本当にありがとうございました。